



公益社団法人 埼玉県看護協会

さいたま

Nursing



武蔵国 越谷郷 久伊豆神社 (越谷市)

No. **134** 2023.1.26

特集1 とともに、つくる、「看護」

令和5年4月1日スタート! 「支部再編」最終報告

4~5

特集2

埼玉県ナースセンターだより

6~7

- ❖ ごあいさつ 2
- ❖ 第30回 埼玉看護研究学会開催 3
- ❖ 令和4年度 アンケート内容 8

会員数 **25,389**名 (2022.11.30 現在)

保健師

411名

助産師

956名

看護師

23,467名

准看護師

555名

埼玉県看護協会ホームページ
<https://www.nurse-saitama.jp>



ごあいさつ

公益社団法人埼玉県看護協会 会長 松田 久美子



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症と対峙して、3年の月日が過ぎようとしています。会員の皆さまには緊張と苦悩の日々であったと推察いたします。皆さまのご尽力に心より敬意と感謝を表します。どのような状況にあっても、この3年間で学んだことを油断せず粛々と実践してまいりましょう。

今年度、第6波から第8波というコロナ禍ではありましたが、定款に定められた事業および重点事業についてはおおむね実施することができております。

昨年に引き続き、継続教育は、4月当初より新人研修をはじめとした研修を実施いたしました。認定看護管理者教育課程においても全コースを開催しております。感染状況に応じてオンラインと対面の研修を組み合わせ、受講者の皆さまの満足を達成することに加え、教育効果を最大限発揮することができるようにも熟慮いたしました。

また、多方面からお寄せいただいた寄附金をもとに実施している、看護職の心の保健室「あじさいルーム」と「感染症予防対策相談」事業は、会員・非会員を問わず活用いただき好評を得ております。さらに、9月に行った第7波の影響に関する調査結果を受けて、寄附金事業として个人防护具を配布させていただきました。本会ホームページおよび看護管理者メーリングリスト登録者へのメールで募集の告知をしたところ、183の施設の皆さまからリクエストが寄せられました。本事業では、県内の看護職の皆さまのお役に立つことができたことを実感しております。

令和4年度の本会の活動が県内看護職の皆さまへの支援となり、看護協会の使命である「県民の健康な生活の実現に貢献する」ことができましたことは、多くの皆さまのご理解・ご協力の賜物とお礼申し上げます。これらの活動を振り返り、次年度の事業計画に反映してまいります。

本年もご指導・ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第30回 埼玉看護研究学会開催



看護研究学会が記念すべき30回を迎え、2022年12月3日に開催されました。テーマは「看護が紡ぐー人生、健康、社会、未来ー」です。

Withコロナ時代の中ハイブリッド形式で開催された学会は昨年度の学びを紡ぎ会場とWEBで今年度は更に参加者が一体となり、充実した素晴らしい学会となりました。

参加者は会場での発表者、WEB参加の合計163名と多くの皆様にご参加いただきました。また101名の看護学生が聴講し、学会での学びを確実に看護の未来へ紡いでいくことを期待します。発表者ならびに参加者の皆様、そしてご尽力頂きました学会委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

研究発表



八木ホールで行われた口演は、第1群から第4群まで、20題が発表されました。発表者の方たちの緊張感が伝わりましたが、素晴らしい成果の発表となりました。質疑応答では、WEBで参加された方たちからの積極的な質問もあり、活発な質疑応答となりました。多くの発表の中で、第2群 埼玉県済生会川口総合病院 島村慈乃さんに、奨励賞が贈られました。

コロナ禍でも研究に熱心に取り組んだ成果を伺うことができ、大変刺激を受けた一日となりました。

特別講演



特別講演では、ふじもと緩和ケアクリニックの藤本先生に「緩和ケアという仕事の魅力」というテーマでご講演いただきました。最期を迎えられる方とのエピソードや、ご自身のご家族を看取られた際のお話をうかがい、心が温まりました。またBSC (best supportive care) は何もしないということではなく、残された時間をいかにその人らしく過ごせるかということであり、先生たちはご家族を含め、全力で支援されていることに感銘を受けました。

ワンポイントレクチャー



人間総合科学大学の渡邊成先生から「研究成果を100%伝えるためのプレゼンテーション 研究発表 虎の巻ポスター発表の『べき、べからず』のお話をいただきました。"貼ってあるだけで分かる"ポスターを作成するための、文字・写真の大きさやボードの活用方法、筋立ての考え方など丁寧に分かりやすくレクチャーいただきました。ポスター発表は、ポスターが貼付されている時間が発表時間となります。伝え方をふまえた資料作成と発表方法について、振り返る機会となりました。

参加しての感想

今回の看護研究学会は「看護が紡ぐ」を掲げ開催されました。「紡ぐ」という言葉には「言葉を紡ぐ」「歴史を紡ぐ」のように比喩表現で多く用いられます。「様々なものをより合わせ1つのものを作り出す」という意味では、皆さんの急性期・慢性期・訪問看護の想いを紡いだものでした。

発表形式についてもハイブリッド開催、コロナ禍で私たちが築き上げた新たな発表形式でした。今後の状況がどのように変化していくかわかりませんが、看護はもっと進化していけると感じました。

広報委員としての久しぶりの現場取材でした。

令和5年4月1日
スタート！

「支部再編」最終報告

会長メッセージ

支部再編に寄せて

会長 松田 久美子

かねてより皆さまに経過をお伝えしておりました支部の再編について最終のご報告をいたします。
令和4年9月10日開催の理事会において新支部名称および支部規則等、各種規定類の改正が承認されました。
これをもちまして、令和5年4月1日より新体制での支部活動開始が決定しました。新支部体制の管内市町村一覧は下の表をご確認ください。

再編の準備にあたっては、地区理事、支部長の皆さまに大変なご尽力をいただきました。ありがとうございました。
また、来年度の準備のために多くの施設様よりご協力いただいております。皆さまのお力添えに心より感謝申し上げます。

再編により本会支部と埼玉県二次医療圏が一致することで、これまで課題となっていた圏域ごとの保健・医療・介護の情報共有や意見交換不足の解消が期待できます。また、各支部の実情に合わせた活動や、地域の看護管理者のネットワーク基盤をより強固にしていきたいと考えております。さらに、行政や関係団体とより円滑な連携を推進していけることと思います。

地域を支える「看護の力」は、今後より一層求められることが予測されます。埼玉県看護協会は、引き続き看護職のネットワーク強化の支援に努めてまいります。



▲地区理事を交えて検討を重ねた。

再編後支部名称・管内市町村一覧

新支部名	管内市町村	現支部名
北部・秩父支部	熊谷市・深谷市・寄居町・本庄市・美里町・神川町・上里町・秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町	第1支部
川越比企支部	東松山市・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・ときがわ町・東秩父村・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・鳩山町・ <u>川越市</u>	第2支部
南西部支部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市・三芳町	第3支部
西部支部	所沢市・ <u>飯能市</u> ・狭山市・入間市・ <u>日高市</u>	第4支部
県央支部	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町	第5支部
さいたま支部	さいたま市（ <u>岩槻区</u> を含める）	第6支部
南部支部	川口市・蕨市・戸田市	第7支部
利根支部	<u>行田市</u> ・ <u>加須市</u> ・ <u>羽生市</u> ・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町	第8支部
東部支部	<u>春日部市</u> ・越谷市・松伏町・草加市・八潮市・三郷市・吉川市	第9支部

※下線の市区町村は現支部からの移動があります。

令和4年度支部長よりごあいさつ

支部の再編のためにご活躍いただきました支部長の皆さまよりメッセージをいただきました。

第1支部

北部・秩父支部

支部長
柿間 真由美
〈埼玉よりい病院〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月21日（金）
- ・時間：14：00～16：00
- ・場所：さくらめいと月のホール

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

当支部は支部再編に伴う変動はありませんでした。来年度は少しずつ活動内容を拡大するための方法を検討しながら支部活動を充実させていきたいと思っています。ご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

第2支部

川越比企支部

支部長
山崎 みつ江
〈小川赤十字病院〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月15日（土）
- ・時間：14：00～16：00
- ・場所：坂戸グランドホテル

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

来年度、埼玉県看護協会の支部再編により当支部の総会は今までにない形での開催を予定しております。令和4年度末に活動報告の総会を、令和5年度4月に活動計画の総会を行います。皆様、ご協力をお願い致します。

第3支部

南西部支部

支部長
筒井 美帆
〈武蔵野総合病院〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月15日（土）
- ・時間：10：00～12：00
- ・場所：ふじみの市サービスセンター

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

来年度も感染対策に考慮しながら、看護デーのPR活動や市民講座、看護研究研修の開催を予定しております。保健医療圏に分けた支部活動になり今後更なる発展が出来ればと思っています。

第4支部

西部支部

支部長
福本 清高
〈大生病院〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月22日（土）
- ・時間：13：00～16：00
- ・場所：狭山市市民会館

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

支部再編にあたり会員数が増えることとなりました。多くの会員および地域の方々に有益となるようなイベントや講演会の実施をしていきたいと思っています。今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。

第5支部

県央支部

支部長
長澤 明子
〈上尾中央看護専門学校〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月15日（土）
- ・時間：13：30～14：45
- ・場所：北本市文化センター

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

卯年は「飛躍する」「契機になる」年と言われています。支部再編に伴い県央支部は、会員数が減少しますが、会員の皆様と協働・連携し、支部活動を実施したいと考えています。ご協力よろしくお願い致します。

第6支部

さいたま支部

支部長
佐山 順子
〈彩の国東大宮メディカルセンター〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月15日（土）
- ・時間：14：00～15：00
- ・場所：埼玉県看護協会 研修センター

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

新支部体制では新たに岩槻区が加わり、さいたま市内の連携を密にした支部活動を目指したいと考えております。次年度は看護の日や看護研究発表会などを予定しております。

第7支部

南部支部

支部長
岡田 美智子
〈埼玉協同病院〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月14日（金）
- ・時間：18：30～20：00
- ・場所：埼玉協同病院

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

会員の皆様、日頃より支部活動に、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。7支部は支部再編に伴う変更はありません。感染対策に留意し、支部活動を強化していきたいと考えております。今後ともご支援・ご協力をお願い致します。

第8支部

利根支部

支部長
藤城 厚子
〈蓮田病院〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月22日（土）
- ・時間：13：30～14：30
- ・場所：ウェルネス幸手

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

昨年の活動は、WEB開催でありましたが、教育講演は多くの方々にご聴講いただき、感謝いたします。令和5年度からは、利根支部新メンバーでの活動がスタートします。今後とも支部活動へのご協力をお願い申し上げます。

第9支部

東部支部

支部長
加藤 好江
〈みさと健和病院〉

●令和5年度支部総会日程

- ・日程：令和5年4月15日（土）
- ・時間：午後
- ・場所：越谷市中央市民会館

●来年度の予定と支部会員へのメッセージ

いつも支部への活動にご協力頂きありがとうございます。令和5年度は支部再編し、新たに会員数も増え、お役に立てる内容での企画を検討してまいります。これからも支部活動へのご支援をよろしくお願い致します。

※令和4年度の3月に臨時支部総会を開催する場合は各支部よりご連絡いたします。

埼玉県ナースセンターだより



埼玉県ナースセンターは、看護職の確保・定着を主な事業として、無料職業紹介の他、看護師等免許保持者の届出制度活用促進、復職支援研修、看護職選択への啓発活動等を行っています。

2019年からのCOVID-19感染拡大以降は、ワクチン接種に関わる人材の教育と確保とともに、日本看護協会からの新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業も実施しています。

また、人口減少に伴う人手不足に向け、プラチナナースの雇用拡大にも取り組んでいます。埼玉県ナースセンターの現在の活動についてご紹介します。

新型コロナウイルス感染症に対する事業

1 看護職員離職防止相談

新型コロナウイルス感染症に対応する看護職の様々な不安を解消、看護職の離職防止を図り、新型コロナウイルス感染症対応に従事可能な看護職の人材確保を目的とする事業です。Web (Zoom) による相談窓口も開設しました。利用しやすい相談方法で申し込みをして下さい。

相談方法

- 電話相談 **048 (620) 7337**
(土日・祝祭日及び年末年始を除く)
- Zoom相談 受付フォームより24時間受付 予約制
- 来館相談 **048 (620) 7337** より事前予約



2 広域人材調整事業

COVID-19感染拡大により、施設で勤務する看護職員の不足により、都道府県内での看護職員の人材調整が困難となり、都道府県間での広域における緊急的な調整が必要な場合、速やかな人材調整を行うと共に、平時より必要な看護職員の人材確保体制の構築・推進を図る事業です。埼玉県では、現在まで県外からの人材調整の依頼及び実施の機会はありません。

3 潜在看護職員研修事業

新型コロナウイルス感染症に関する業務に従事するために潜在看護職等に対しスキルアップ研修を実施する事業です。埼玉県では、コロナ感染症対応経験が無い看護職のスキルアップを図り、対応可能な看護職の育成を目的として、就業中の看護職の受講も可能としています。研修会は、eラーニング視聴と演習で構成し、5回/年実施します。講習会参加者には、新型コロナウイルス感染症対応看護師リストへの登録をお願いし、新型コロナに関する求人情報を提供、復帰に向けサポートをさせていただいています。

研修方法	研修内容
eラーニング	感染管理の基礎知識、医療ガスの取り扱い、医療安全、倫理 等
演習	個人防護具の着脱、酸素ボンベと酸素濃縮器の取り扱い 等

■ 演習風景



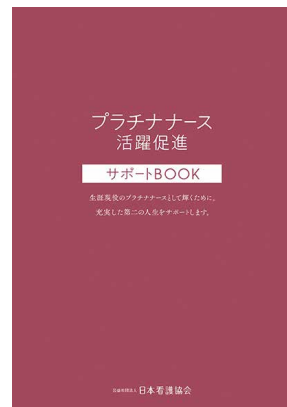
✿ 定年退職前後の年代の雇用拡大を目的として、求人施設を対象とした研修

ネクストキャリア研修

看護職を対象としたネクストキャリア研修は、2019年度から開催しています。今年度は、求人施設を対象に新規企画として開催しました。労働人口の減少により、労働力の確保が必須となります。対策として定年が65歳未満の場合、①65歳までの定年の引き上げ、②65歳までの継続雇用制度の創設、③定年の廃止のいずれかの措置が必要となりました。そんな中で活躍が期待されるのが定年前後の人材です。この研修会では、社会保険労務士からは、定年後も雇用を継続する為のポイントや年金受給と給与との関係等を、雇用している施設からは、雇用上の工夫点をお話いただきました。

現在eナースセンターでは、求職登録者の39%を50歳以上の方で占めています。また、50～59歳の定年前の方では49%が就業中となっており、定年後に向け就職活動をしていると推測されます。経験値が高いプラチナナースの積極的な雇用に繋がることを期待しています。

eナースセンターの求人登録票には、「60歳以上歓迎」と記載されたチェック項目があります。求人登録の際にはご活用下さい。



▲日本看護協会ホームページよりダウンロード可能

✿ 看護師等の届出制度が開始され7年が経過しました

看護師等の届出制度

埼玉県では6242人の看護職が届出をされています。年度末に向け退職される方が増える時期です。看護師等の届出制度について改めてご案内します。

2015年10月から、看護職は離職時などに住所、氏名、免許番号等の事項を都道府県ナースセンター届出サイト「とどけるん」へ届け出ることが努力義務化されました。届け出の方法は、個人で届け出るだけでなく、離職時の勤務先が離職者の同意を得て代行し届け出ることもできます。

離職時などに届け出た看護職の方には、届出サイトを通じ情報提供や直接就職相談をすることも可能です。埼玉県ナースセンターが離職等の状況に合わせた支援を行い、看護職として切れ目のないキャリアを積むことができますようにしています。

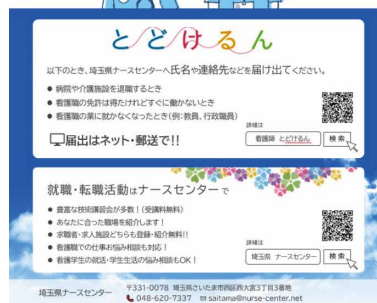
様々な理由で離職された方が、復職を希望された時にスムーズな復職が可能となり、皆さんの職場の人材となるようご協力よろしくお願いいたします。

看護師等の届出サイト

とどけるん
届出専用 ☎048-620-7339



保健師・助産師・看護師・准看護師の
資格をお持ちの皆様へ！
届出は努力義務です！



お問合せ

埼玉県看護協会 ナースセンター

048-620-7337

受付

土日・祝日・年末年始を除く
月曜日～金曜日9:00～16:00

https://www.nurse-saitama.jp/about_nursecenter/



アンケートへのご協力ありがとうございます

アンケートにたくさんのご意見をお寄せいただきました。一部をご紹介します。

●130号 2022.1.26 (特集 看護師のキャリア展望 特定行為研修修了者の実践)

感想

特定行為研修について、よく理解していなかったのが、研修を受けた人の声を聞けることは良かった。体験談があり興味があった。



感想

世の中の看護の動きが分かりとても助かっている。

●131号 2022.4.25 (特集 先輩・後輩が過ごした一年を振り返る～コロナ禍の新人職～)

感想

環境の変化に誰しもストレスを感じるんだなと勇気をもらいました。



感想

今後も新人さんの振り返りがあると嬉しいです。

●132号 2022.7.28 (特集 2年目と先輩の手術室看護師が伝える周術期看護の魅力)

感想

特集を読み、自分もOPEナースとして後輩教育をしていた20代の頃を思い、懐かしく思い出しました。



感想

6月から外科病棟で働いており今回の特集で手術室側のことを知ることができました。毎日OPE出ししているので参考になりました。

特集してほしいテーマ／

- いろいろな病院の感染対策事例。
- 仕事と家庭の両立。
- 60歳からの看護師の働き方について、先輩の声が聞きたい。
- 男性看護師、ナースマンを取り上げてほしい。
- 看護師の業界でも不妊治療している人は多いと思う。その中でどう治療しているのかなど特集があると励みになる。

▼ INFORMATION

編集後記

広報委員会

みなさん、新年号はいかがでしたか。まだコロナ収束には至りませんが、新たな年を迎え、それぞれの場所で、今年の抱負など意識を新たにしていることと思います。今回は、12月に行われた埼玉看護研究学会を取り上げました。コロナ禍での開催でしたが、ICTを活用した開催となり、看護学生の皆さんを含め多くの方が参加されました。会員の皆さんが一堂に会し開催できる日が、一日も早く来ることを願います。

また今号では、埼玉県看護協会の支部再編成についてご報告しています。新たな枠組みで支部活動が行われます。今後、各支部の特徴や活動内容など、この会報でご紹介できると良いと思っています。

広報誌「saitama」134号はいかがでしたか？アンケートで皆様の声を聞かせてください。奮ってご参加ください。

◆応募締切：令和5年2月28日(火)まで

▼アンケート内容

- ① 興味をひかれた記事はありましたか。
- ② 支部再編について今後期待することは何ですか。
- ③ これから取り上げてほしい内容がありましたらお聞かせください。
- ④ 本号へのご意見、ご感想をお聞かせください。



回答はこちら



この印刷物は環境にやさしい「植物油インク」を使用しています。



GREEN PRINTING JPN P-B10151